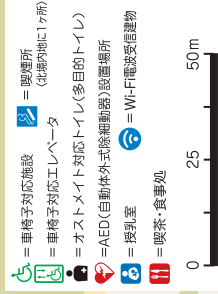


ごしょうき
ほうおんこう
ほうよう

西本願寺
NISHI HONGWANJI

浄土真宗本願寺派 龍谷山本願寺



※P.11・12に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載いたしておりますので、そちらも併せてご参照ください。

恩徳讃

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

目次

恩徳讃	1
ご挨拶 〈浄土真宗本願寺派総長 池田 行信〉 〈本願寺執行長 藤實 無極〉	3
新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)	5
浄土真宗の教章(私の歩む道)	6
新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息	7
御正忌報恩講法要 全日程表	9
御正忌報恩講法要 境内案内図	11
法要日程(9日～16日)	13
お 斎	14
御法衆献詠入選歌	18
通夜布教(15日～16日)	23
御正忌報恩講法要期間中の関連行事	24
「令和6年能登半島地震災害義援金」募集について	31
親鸞聖人のご生涯(御絵伝解説)	32
大谷本廟(京阪バス時刻表)	41
日野誕生院/角坊	42
帰敬式	43
「院号」をいただくには	44
免 物	45
本願寺よりのご案内 ほとけさまのお話/お西さんを知ろう!	46
領解文/私たちのちかい	47
報恩講の歌/お西さん(西本願寺)SNS紹介	48
2025(令和7)年 本願寺の法要行事日程	49
御正忌報恩講法要期間中の仏華	50

2025(令和7)年

御正忌 報恩講 法要

ごしようき
ほうおんこう
ほうよう

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦労を通して、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めします。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しましょう。

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

池田 行信

本願寺執行長

藤實 無極

本日は、厳しい寒さのなか、遠近各地よりようこそご参拝くださいました。

昨年は、元日におきた令和六年能登半島地震にはじまり、各地において自然災害が相次いで発生し、多くの尊いいのちが失われましたことに衷心哀悼の意を表しますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申しあげます。

さて、本年も、みなさまとご一緒に「御正忌報恩講法要」をお迎えさせていただきまことは、大変ありがたいこととありますとともに、身の引き締まる思いがいたします。

浄土真宗において「報恩講法要」は、宗祖親鸞聖人の九十年のご生涯にわたるご苦勞を偲び、ご遺徳を讃え、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く

味わわせていただく大切な法要として、全国の寺院において脈々と営まれています。殊に「御真影さま」と呼ばれる親鸞聖人のお木像をご安置する、ここ本山本願寺でお迎えする「御正忌報恩講法要」は、毎年一月九日から十六日までの八日間に十四座お勤めし、全国から多くの方々がご参拝になられています。

親鸞聖人は、あらゆる人びとが、阿弥陀如来の本願力によって、往生成仏し、この世に還って迷えるものを救うためにはたらくという浄土真宗の教えを明らかにされ、自信教人信の道を歩まれました。

ご門主さまは「浄土真宗のみ教え」についてのご親教（令和三年四月十五日）において「阿弥陀如来に願われないのちと知らされ、その温かなお慈悲に触れる時、大きな安心とともに生きていく力が与えられ、人と喜びや悲しみを分かち合い、お互いに敬い支え合う世界が開かれてきます。如来のお慈悲に救われていく安心と喜びのうえから、仏恩報謝の道を歩まれたのが親鸞聖人でした。」とご教示くださいました。

私たちも、親鸞聖人のみ跡を慕い、これからお念仏を喜び、いのちあるものがお互いに敬い合い支え合って、ともに往生浄土の道を歩ませていただきますように。

合掌

新しい「領解文」

（浄土真宗のみ教え）

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といったいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

先祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

浄土真宗の教章（私の歩む道）

浄土真宗
親鸞聖人

（ご開山）

ご誕生 一一七三年五月二十一日
（承安三年四月一日）

ご往生 一二六三年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

浄土真宗本願寺派

龍谷山 本願寺（西本願寺）

阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

『仏説無量寿経』

『仏説観無量寿経』

『仏説阿弥陀経』

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）

『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

教義

阿弥陀如来の本願力によって信心を
めぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この
世の縁が尽きるとき浄土に生まれて
仏となり、迷いの世に還って人々を教化
する。

生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀
如来の信心を聞き、念仏を称えつつ、
つねにわが身をふりかえり、慚愧と
歡喜のうちに、現世祈禱などにたよる
ことなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、
念仏を申す人々の集う同朋教団で
あり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を
伝える教団である。それによって、自他
ともに心豊かに生きることのできる
社会の実現に貢献する。

新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息

本年三月には、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」という記念すべきご勝縁をお迎えいたします。このたびの慶讃法要は、親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、同じお念仏の道を歩む者同士が、あらためて同信の喜びを分かち合うためのご法要です。また、これを機縁として、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗に親しみのなかった人など、一人でも多くの方々に浄土真宗とのご縁を結んでいただきたいと思います。

伝道教団を標榜する私たちにとって、眞実信心を正しく、わかりやすく伝えることが大切であることは申すまでもありませんが、そのためには時代状況や人々の意識に応じた伝道方法を工夫し、伝わるものにしていかなければなりません。このような願いをこめ、令和三年・二〇二一年の立教開宗記念法要において、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わ

るよう、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として示し、ともに唱和していただきたい旨を申し述べました。

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自身のご法義の受けとめを表出するために『領解文』が用いられてきました。そこには「信心正因・称名報恩」などご法義の肝要が、当時の一般の人々にも理解できるよう簡潔に、また平易な言葉で記されており、領解出言の果たす役割は、今日でも決して小さくありません。

しかしながら、時代の推移とともに、『領解文』の理解における平易さという面が、徐々に希薄になってきたことも否めません。したがって、これから先、この『領解文』の精神を受け継ぎつつ、念仏者として領解すべきことを正しく、わかりやすい言葉で表現し、またこれを拝読、唱和することでご法義の肝要が正確に伝わるような、いわゆる現代版の「領解文」というべきものが必要になつてきます。そこでこのたび、「浄土真宗のみ教え」に師徳への感謝の念を加え、ここに新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として示します。

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といた

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗主の

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を
僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会で
拝読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、ま
た次の世代に確実に伝わることを切に願ってお
ります。

令和五年 一月十六日
二〇二三年

龍谷門主 釋 尊 如

2025(令和7)年

御正忌報恩講法要 全日程表

9日 逮夜法要～16日 日中法要

《関連行事》

- ★A… 12日(日) 13:15～ 御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
★B… 13日(月・祝) 12:30～ 第68回 全国児童生徒作品展表彰式 【阿弥陀堂】
★C… 15日(水) 11:50～ 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】

時間	6:00	8:10	10:00	11:10 ～11:50	12:10 ～12:50	14:00	15:30 ※15日は18:00	16:00以降
法要行事	晨朝	常例布教	日中法要	特別講演	親鸞聖人の ご生涯 (御絵伝解説)	逮夜法要	初夜	
場所	阿弥陀堂 御影堂	総会所	御影堂	総会所	総会所	御影堂	御影堂	
9日(木) 開門5:30/閉門17:00						大師影供作法	改悔批判	
10日(金) 開門5:00/閉門17:00	阿弥陀経【阿】 日没礼讃【影】	本願寺派布教使 井上 慶真	二門偈作法	—	〈第一幅〉 若林 唯人	奉讃大師作法	正信偈 改悔批判	15日 16:00～17:30 奉讃演奏会 2025 場所: 多目的ホール
11日(土) 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 初夜礼讃【影】		新制御本典作法	本願寺派勸学 林 智康	〈第二幅〉 津守 秀憲	正信念仏偈作法 第三種	正信偈 改悔批判	
12日(日) 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 中夜礼讃【影】		奉讃大師作法	行信教校校長 天岸 淨圓	〈第三幅〉 渡辺 雅俊	★A 浄土法事讃作法	正信偈 改悔批判	
13日(月・祝) 開門5:00/閉門17:30	阿弥陀経【阿】 後夜礼讃【影】	本願寺派布教使 浅野 執持	二門偈作法	本願寺派布教使 宰務 清子	〈第四幅〉 正親 一宣 ★B	宗祖讃仰作法 (音楽法要)	正信偈 御伝記拝読	15日19:00 ～16日5:40 通夜布教 場所:総会所 多目的ホール
14日(火) 開門5:00/閉門17:00	讃仏偈【阿】 晨朝礼讃【影】		正信念仏偈作法 第三種	真宗大谷派僧侶 鈴木 君代	—	大師影供作法 御俗姓拝読	正信偈 改悔批判	
15日(水) 開門5:00/閉門19:30	讃仏偈【阿】 日中礼讃【影】		新制御本典作法	総合研究所長 本願寺派勸学 大田 利生	★C —	広文類作法 引き続き ご門主様ご親教	18:00 正信偈 改悔批判	
16日(木) 開門5:00/閉門17:00	漢音小経【阿】 正信偈(真譜)【影】		報恩講作法					

※【阿】…阿弥陀堂 【影】…御影堂

お頭人

お頭人とは、御正忌報恩講法要中における初夜勤行（斎、非時の勤行）に正信偈を勤める調声人のことです。喚鐘が鳴ると、係の者（承仕）が外陣で「お頭人！お頭人！」と大きく呼ぶ声が御堂中に響き渡り、お勤めが始まります。



● 法要中継について ▶LIVE

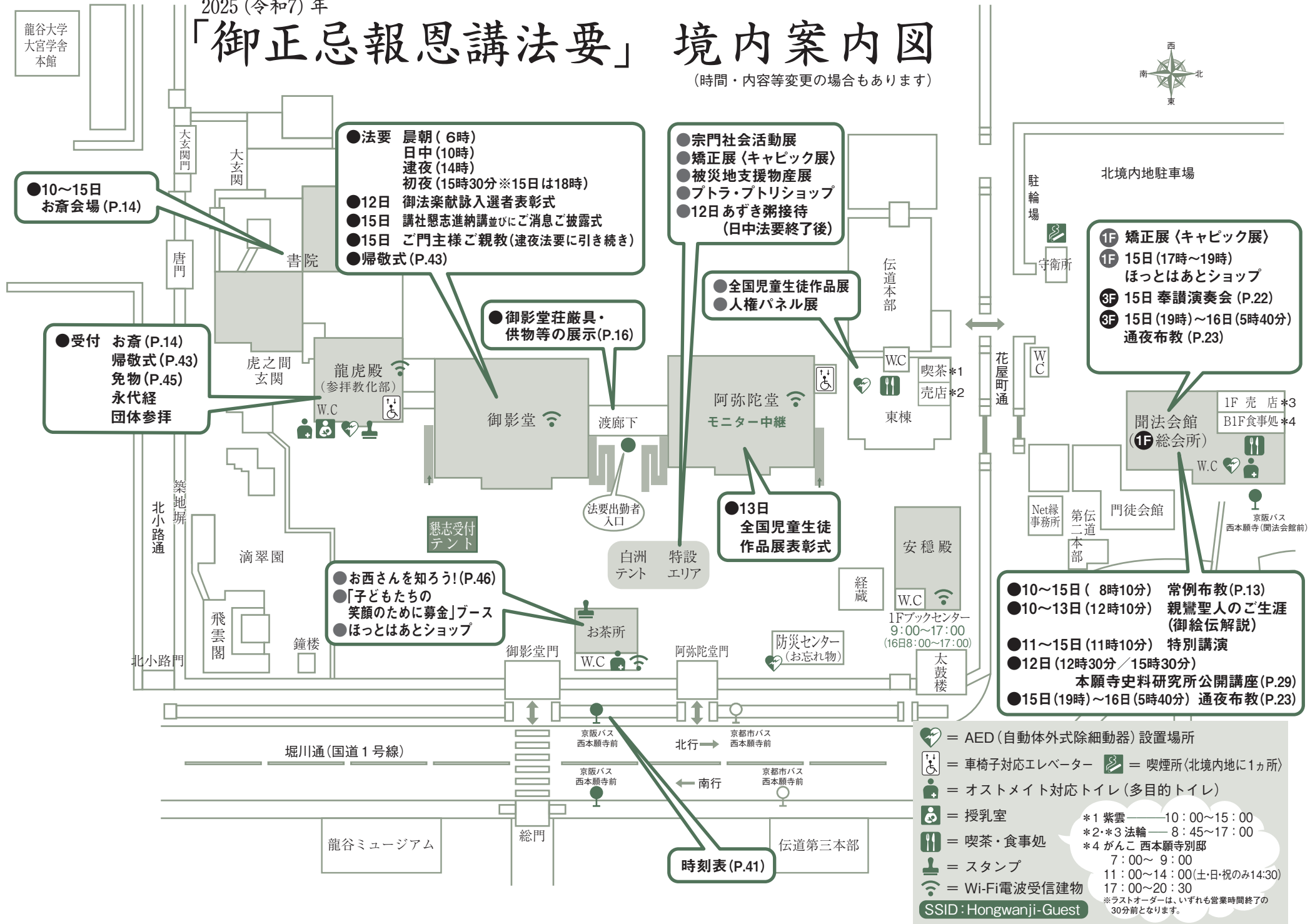
法要の様子は随時インターネットにてライブ中継・配信いたしますので、寺院・各ご家庭等でもご参拝いただけます。



2025 (令和7) 年

「御正忌報恩講法要」 境内案内図

(時間・内容等変更の場合もあります)



御正忌報恩講法要(日程)

9日

木

開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

13時30分頃	御堂布教	御影堂
13時55分	御親開扉	御影堂
14時00分 (約45分)	速夜法要 大師影供作法	御影堂

15時30分 (約25分)	初夜(改悔批判)	御影堂
------------------	----------	-----

常例布教 総会所 8時10分 20分間 ※10〜15日

御堂布教
(日中法要前) 9時30分頃 15分間
(速夜法要前) 13時30分頃 15分間

9日午後 12日午前
お念仏との出遇い
井上慶真師
長野教区 飯山組 正行寺

12日午後 16日午前
親鸞聖人の歩まれた道
浅野執持師
四州教区 今治組 万福寺

※16日午後より通常通り P.46

御親開扉

御正忌報恩講法要をお迎えするにあたり、ご門主様により、御真影様ご安置の御厨子の扉が開けられます。

改悔批判

※13日は御伝記拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日から15日の初夜に、改悔批判をおこなっています。

今年の与奪者は北塔晃陸勧学です。



経文については、別冊の『御正忌報恩講法要』を参照ください。

要申込

お斎



とき ● 1月10日(金)〜15日(水)

【1回目】12時頃〜 【2回目】13時頃〜

※定員(各回) 〃〃〃名

※10日は12時30分頃のみの

ところ ● 書院(鴻之間) 全席椅子席

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『斎』といいます。本願寺では、毎年1月10日から15日まで、日中法要後にお斎の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。

本願寺でのお斎は、動物性の食材は一切用いず、一汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山 有田北組の皆様がご進納)とお酒を土産にお持ち帰りいただきます。

お申し込みについては、参拝教化部までおたずねください。

・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

10日

金

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝〔小経(吳音)・往生礼讃偈(日没)〕	両
8時10分	常例布教	総会
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約45分)	日中法要 二門偈作法	御影堂
12時10分 (約40分)	御絵伝解説〈第一幅〉 P.33 ~ P.34	総会
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約50分)	逮夜法要 奉讃大師作法	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂

親鸞聖人の生涯

(御絵伝解説)

総会所にて御絵伝を映しながら、布教研究専従職員が四日間連続して場面ごとに解説いたします。

絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人の生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきます。

※併せて32〜40ページもご参照ください。

と き	● 1月10日(金)~13日(月・祝)
	12時10分~12時50分
と ころ	● 聞法会館1階 総会所
解説者	
〈第一幅〉 10日(金)	わかばやしただと 人(大阪府)
〈第二幅〉 11日(土)	つもりひで のり 憲(兵庫県)
〈第三幅〉 12日(日)	わたなべまさとし 俊(北海道)
〈第四幅〉 13日(月)	おおぎかず のぶ 宣(三重県)

参拝教化部

11日

土

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝〔讃仏偈・往生礼讃偈(初夜)〕	両
8時10分	常例布教	総会
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約40分)	日中法要 新制御本典作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会
12時10分 (約40分)	御絵伝解説〈第二幅〉 P.35 ~ P.36	総会
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約45分)	逮夜法要 正信念仏偈作法 第三種	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂

御影堂荘厳具・供物等の展示

御正忌報恩講法要期間中、阿弥陀堂・御影堂間渡廊下に大型ブースを設け、荘厳具・供物等を展示いたします。貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

と き ● 1月9日(木)~16日(木)
と ころ ● 両堂間渡廊下

式務部

11:10~11:50
特別講演

浄土真宗と妙好人



本願寺派勸学
林 智康 師

12日

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

御法楽献詠

聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門信徒の方がたから広く歌を募っております。

本年の兼題は「平和(へいわ)」とし、全国より寄せられた114首の中から次ページの5首が入選いたしました。

6時00分	晨朝〔讃仏偈・往生礼讃偈(中夜)〕	両
8時10分	常例布教	総
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約50分)	日中法要 奉讃大師作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
12時10分 (約40分)	御絵伝解説 (第三幅) P.37、P.38	総会所
13時15分	御法楽献詠入選者表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約65分)	逮夜法要 浄土法事讃作法	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂

11:10~11:50
特別講演

浄土宗のなかに

真あり仮あり



行信教校長

天岸 浄圓 師

令和7年 御法楽献詠入選歌

兼題

平和

講評

宗派月刊誌「大乘」歌壇選者

喜多

弘樹

受け継がれ 明治の時計とお念仏
祖母の願ひの平和を刻む

佐賀県

井上 恵子

《評》明治という日本の近代化の時代から受け継がれてきたのは古い時計と祖母のお念仏。平和を願って称え続けていた祖母、その時間を刻んでいたのは明治の古時計。世の中安穏なれと。

朝な朝なこの皺ふかき手を合はせ
世界平和のお念仏申す

大分県

後藤 信子

《評》朝には毎日欠かすことなく念仏を申してこられた作者。若い頃から老いた今も、世界の平和を願ってひたむきに。皺深い手にはお念仏の心がしっかりと刻まれていることでしょう。

平和裡に今日のひと日の暮れゆきぬ
なもあみだぶつと額づきまつる

鳥取県

佐々木 順子

《評》今日も何事もなく、穏やかに暮れていく。このひとときを大切にとお念仏が全身から湧きおこってくるような清浄な力を感じさせてくれます。尊前に額づいて、ゆつくりと無心に。

地球儀に戦火は見えず
小さき手が青い青いと回す球体

佐賀県

貞包 雅文

《評》地球儀を回す小さい手。青い青いとおぶあきながら、まだ幼い子が好奇心をもつて回す球体。そこには戦争の火などどこにも見当たりません。小さい手は御仏の大きな手でもあります。

きざまれし 兵戈無用の願いこめて
梵鐘ひびく夕焼けの空

岐阜県

高賀 まや子

《評》親鸞聖人が学ばれた『仏説無量寿経』に説かれている言葉で、兵隊も武器も要らないという平和な世の中を願う御仏の教え。その願いをこめて夕焼けの空へ梵鐘の音が響いてきます。

13日 月・祝

開門 5:00 閉門 17:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分 晨朝〔小経(具音)・往生礼讃偈(後夜)〕 両
8時10分 常例布教 総
9時30分 御堂布教 御
10時00分 日中法要 二門偈作法 御
(約35分)

11時10分 特別講演 総
12時10分 御絵伝解説 (第四幅) P.39 P.40 総
(約40分)

12時30分 第68回 全国児童生徒作品展表彰式 阿弥陀堂
13時30分 御堂布教 御

14時00分 逮夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要) 御
(約40分)

15時30分 初夜〔正信偈 引き続き御伝記拝読〕 御
(約130分)

節談説教(東保流)
あなたも私も今も信の座
本願寺派布教使
宰務清子師



本願寺派布教使
宰務清子師

11:10~11:50
特別講演

14日 火

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分 晨朝〔讃仏偈・往生礼讃偈(晨朝)〕 両
8時10分 常例布教 総
9時30分 御堂布教 御
10時00分 日中法要 正信念仏偈作法 第三種 御
(約40分)

11時10分 特別講演 総
13時30分 御堂布教 御

14時00分 逮夜法要 大師影供作法 御
引き続き 御俗姓拝読 御
(約65分)

15時30分 初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕 御
(約60分)

声を聴くということ



真宗大谷派僧侶
シンガーソングライター
鈴木君代師

11:10~11:50
特別講演

『御伝記(御伝鈔)』と『御絵伝』

本願寺第三代寛如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、その生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。御正忌報恩講の折にこの「御絵伝」(八幅)を御影堂の左右両余間にお掛けし、一月十三日に『御伝鈔』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝鈔』と呼びます。

御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

15日

水

開門 5:00 閉門 19:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝 (讀仏偈・往生礼讃偈(目中))	両
8時10分	常例布教	総
9時30分頃	御堂布教	御
10時00分 (約45分)	日中法要 新制御本典作法	御
11時10分	特別講演	総
11時50分	講社懇志進納講並びにご消息ご披露式	御
13時30分頃	御堂布教 手話通訳	御
14時00分	速夜法要 広文類作法	御
引き続き	ご門主様ご親教 手話通訳	御
16時00分 (約90分)	奉讃演奏会 (17時30分終了予定) P.22	聞
18時00分 (約60分)	初夜 (正信偈 引き続き改悔批判)	御
19時00分	通夜布教 (16日5時40分) P.23	聞

11:10~11:50 特別講演

阿弥陀如来のご本願



総合研究所長 本願寺派勸学 大田利生 師

講社懇志進納講並びにご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、一年間に進納のあった進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五(昭和四十)年に本願寺第二十三代勝如上人が発布された「講社への消息」が披露されます。

と き ● 1月15日(水) 11時50分

ところ ● 御影堂



講社ホームページを随時更新中です。歴史や年間行事など幅広く紹介しております。
http://kousha.hongwanji.or.jp



参拝教化部

16日

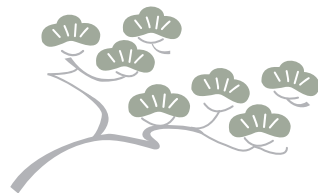
木

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午後 13:30

(15日19時)	5時40分迄 通夜布教 P.23	聞
6時00分	晨朝 (小経(漢音)・正信偈(真譜)) ※午前の帰敬式は行われません	両
9時30分頃	御堂布教	御
10時00分 (約95分)	日中法要 報恩講作法	御
13時30分	帰敬式	御
14時00分	常例布教(昼座) P.46	総



と き ● 1月15日(水) 16時~17時30分(開場15時30分)

ところ ● 聞法会館3階多目的ホール (入場無料)

プログラム

- ・相好ごとに百千の
- ・金子みすゞ詩による童謡歌曲集《ほしとたんぽぽ》より
- ・みんな花になれ(愛唱歌) 他

※曲目は都合により変更となる場合があります

【出演】

本願寺合唱団・龍谷混声合唱団
(指揮:鈴木捺香子 ピアノ:井上なおみ)
若林充 (acco) & 緒勝涼子(pf, acco)

演奏会の詳細はこちら→



御正忌報恩講 奉讃演奏会 2025

—通夜布教前のひとときを—
仏教讃歌とともに—

合唱やアコーディオンによる仏教讃歌の調べをお楽しみください。

浄土真宗本願寺派総合研究所

聞法 会館	伝道本部		聞法 会館	白洲特設テントエリア					お茶所			スタン プラ リー	
	展 示	販 売	ふるまい	展示・頒布	販売・展示	展 示	募 金	販 売					
11 第18回 本願寺史料研究所公開講座	10 第68回 全国児童生徒作品展	9 人権パネル展	8 矯正展（キャピック展） （2会場）	7 あずき粥接待	6 プトラ・プトリシヨップ （少年連盟教材の展示と頒布）	御正忌報恩講 法要期間中の 関連行事			5 被災地支援物産展2025	4 宗門社会活動展	3 子どもたちの笑顔のために募金	2 ほつとはあとシヨップ 〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜	1 「西本願寺ブランドツリーング」 「真宗十派本山報恩講法要巡り」
		テーマ「ジェンダーと人権」	12:00 〜 16:00			9日 (木)	12:00 〜 16:00	12:00 〜 16:00	13:30 〜 15:30	9:30 〜 15:30	スタン プ設 置場 所… お茶所・龍虎殿		
			9:00 〜 16:00			10日 (金)	9:30 〜 16:00	9:30 〜 16:00	9:30 〜 15:30				
					10:00 〜 15:00	11日 (土)							
12:30～ ・ 15:30～				日中法要 終了後 13:00		12日 (日)							
	12:30 表彰式 (阿弥陀堂)					13日 (月・祝)							
						14日 (火)							
						15日 (水)							
			9:00 〜 12:00		16日 (木)	9:30 〜 12:00	9:30 〜 12:00	9:30 〜 11:30					

西本願寺 小豆粥 <レトルト> 500円(税込)

親鸞聖人がお好きであったとされる小豆の
 入った「小豆粥」がレトルトになりました！
 ちょうどいい塩加減と生姜の風味で
 身体の芯から温まります♪

販売中 ・西本願寺売店（伝道本部1F「法輪」・聞法会館1F）
 ・大谷本廟ロビー売店



御正忌報恩講法要
 参拝のお土産に
 ビッタリ！



通夜布教



総会所

通夜布教とは、親鸞聖人ご往生の前夜に門弟や縁の
 深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言わ
 れ、15日夜から16日早朝にかけ、13名の本願寺派布教
 使が夜通し法話をいたします。

と き ● 1月15日（水）19時～1月16日（木）5時40分
 ところ ● 聞法会館〈2会場〉
 （1階 総会所・3階 多目的ホール）
 2会場
 同時進行！

1 階 総 会 所	時 間	3 階 多 目 的 ホール	全席椅子席
勤行（正信偈六首引）	19:00～19:30	勤行（正信偈六首引）	
挨 拶	19:30～19:35	挨 拶	
講師名		講師名	
あさの しゅうじ 浅野 執持 四州教区 今治組 万福寺	19:50～20:30	たちばな あきら 立花 聡（聡賢）佐賀教区 松浦組 西光寺	
いおだ しんどう 庵戸 真道 和歌山教区 紀南組 安樂寺	20:30～21:10	しまくら たかお 嶋倉 崇雄（崇雄）長野教区 河東組 圓長寺	
さ さ き しゅんきょう 佐々木 俊教 山陰教区 出雲組 覚専寺	21:10～21:50	あさの しゅうじ 浅野 執持 四州教区 今治組 万福寺	
休 憩（20分）	21:50～22:10	休 憩（20分）	
たちばな あきら 立花 聡（聡賢）佐賀教区 松浦組 西光寺	22:10～22:50	いおだ しんどう 庵戸 真道 和歌山教区 紀南組 安樂寺	
しまくら たかお 嶋倉 崇雄（崇雄）長野教区 河東組 圓長寺	22:50～23:30	さ さ き しゅんきょう 佐々木 俊教 山陰教区 出雲組 覚専寺	
の せ みょうけい 野瀬 妙恵 滋賀教区 彦根組 清徳寺	23:30～0:10	まつだ ぎりょう 松田 義量 兵庫教区 赤穂北組 慈眼寺	
いしかわ りょうえい 石川 了英 富山教区 水橋組 玉永寺	0:10～0:50	とくひら ちかい 徳平 智海 四州教区 宇和島組 徳正寺	
休 憩（20分）	0:50～1:10	休 憩（20分）	
まつだ ぎりょう 松田 義量 兵庫教区 赤穂北組 慈眼寺	1:10～1:50	の せ みょうけい 野瀬 妙恵 滋賀教区 彦根組 清徳寺	
とくひら ちかい 徳平 智海 四州教区 宇和島組 徳正寺	1:50～2:30	いしかわ りょうえい 石川 了英 富山教区 水橋組 玉永寺	
いづち しゅうぎょう 生土 昌行 北豊教区 京仲組 正山寺	2:30～3:10	しちり じゅんりょう 七里 順量 東京教区 埼玉組 超光寺	
休 憩（20分）	3:10～3:30	休 憩（20分）	
わたなべ ゆうしん 渡辺 有真 佐賀教区 武雄組 正法寺	3:30～4:10	あさ い いってん 浅井 一典 福井教区 敦賀組 浄光寺	
しちり じゅんりょう 七里 順量 東京教区 埼玉組 超光寺	4:10～4:50	いづち しゅうぎょう 生土 昌行 北豊教区 京仲組 正山寺	
あさ い いってん 浅井 一典 福井教区 敦賀組 浄光寺	4:50～5:30	わたなべ ゆうしん 渡辺 有真 佐賀教区 武雄組 正法寺	
挨 拶・恩徳讃	5:30～5:40	挨 拶・恩徳讃	

●モニター中継およびインターネット中継を行います。

販売 2 ほっとはあとショップ 「結ぶ絆から、広がるご縁へ」

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって作製した「ほっとはあと製品」を出展販売いたします。

お店では、おいしいパンやお菓子、そして生活雑貨等の販売をいたしますので、皆さまのお越しをお待ちいたしております。



主催：特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所等が合同で設立した団体です。

後援：浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 9時30分～15時30分
※16日は出展販売なし

場所 お茶所 (白洲総合案内所)
※15日(水)のみ 17時～19時に
聞法会館 1階ロビー (和室前) でパン販売

重点プロジェクト推進室

募金 3 子どもたちの笑顔のために募金

宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金をブース(お茶所内)までお持ちください。



日時 法要期間中
9時30分～15時30分
※9日は13時30分から、
16日は11時30分まで

場所 お茶所内

重点プロジェクト推進室



キャッシュレス募金
専用ページは
こちらから

ほっとはあとショップ出展販売施設

- 9日・サリュ (つまみ細工や七宝焼きのアクセサリ)
・SPRING (酒粕マフィン)
- 10日・あやべ作業所 (綾部の醤油、醤油ラスク、ほうじ茶ラスク)
・プティパ(アクセサリ、日用雑貨)
- 11日・京都市うずまさ学園 (パン、焼き菓子)
・のつつ(布の袋、ポストカード、レターセット)
- 12日・あおい苑 (焼き菓子、キーホルダー、タオル)
・飛鳥井ワークセンター (パン、焼き菓子)
- 13日・大江作業所 (大豆チップス、京小麦を使った焼き菓子)
- 14日・たなべ緑の風作業所 (手編み座布団、陶芸品)
- 15日・伏見工房 (刺し子布巾、香袋)
・京都市だいが学園 (パン、焼き菓子)

※11月29日現在の予定、出展施設の追加がある場合がございます
※15日(水)のみ、17時から19時まで、聞法会館1階ロビーにて、京都市だいが学園によるパン、焼き菓子の販売があります

展示 6 プトラ・プトリシヨップ (少年連盟教材の展示と頒布)

少年連盟キャラクターの「プトラ」「プトリ」をモチーフにした新教材「おまいりトート」をはじめ、ノートや鉛筆、消しゴムなどの文具セット、すくろく(親鸞さま編・お釈迦さま編)、バンダナなどの教材を広く知ってもらい、少年教化活動に活用していただこうと教材の展示と頒布をしています。ぜひお立ち寄りください。

ふるまい 7 あずき粥接待

ご参拝の皆さまに心身ともに温まっていただけよう、親鸞聖人がお好きであったとされる小豆を炊きあげ、あずき粥の接待を行っております。職員有志にてご提供いたしますので、是非お立ち寄りください。



日時 1月11日(土)、12日(日)、13日(月・祝)
10時～15時まで

場所 白洲特設テント

寺院活動支援部 (組織教化担当)



日時 1月12日(日)
日中法要終了後～13:00
(無くなり次第終了)

場所 白洲特設テント

職員共済会

展示 4 宗門社会活動展

社会部〈社会事業担当〉では、ビハラー活動をはじめ、矯正教化、更生保護事業など、様々な活動を推進しております。また、浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会（全養本派クラブ）では、「こども虐待防止」のシンボルマークである「オレンジリボン運動」の啓発に取り組んでおります。広く社会に向けた活動をパネルにてご紹介しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テント

社会部〈社会事業担当〉

展示販売 8 矯正展〈キャピック展〉

宗門所属の教誨師・篤志面接委員（約三六〇名）が全国の刑務所や少年院等において教化伝道および、社会貢献の一環として宗教教誨や面接活動を実施しています。その被収容者の社会復帰に備え、施設職員の指導のもと、各施設内の工場等で刑務作業を実施しております。そこで制作される刑務所作業用品（家具・靴・伝統工芸品など心をこめた逸品）の展示販売会をおこなっていますので、ぜひお立ち寄りください。



- ①大人気の「函館刑務所マル獄シリーズ」
- ②汚れ落としのスーパースター「フルスティック」
- ③組合せ自由自在「カラー整理箱」

主催：（公財）刑務作業協力事業部/
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟
後援：京都刑務所
協賛：刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 9時～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テントおよび
聞法会館1階 和室（2会場）

社会部〈社会事業担当〉

展示 9 人権パネル展

人権週間より御正忌報恩講法要までおよそ四十日間を縁として、宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

現在宗門では、多様性を認め合い、平等で公平な宗門を構築するため、ジェンダー平等の推進に取り組んでいます。

今回は、「ジェンダーと人権」をテーマに、さまざまな企業や団体が発信する情報をご紹介します。

すべての人びとが自他ともに心豊かに生きることができるよう、共に学びを深めてまいりましょう。



日時 人権週間（12月4日（水）～1月16日（木））
場所 伝道本部東棟1階ロビー

社会部〈人権問題担当〉

展示 10 第68回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。応募作品の中から、「特選」（各部門各学年から1名）を選び、御正忌報恩講期間中に阿弥陀堂で表彰します。全国の子どもたちから応募された力作を、ぜひご覧ください。



日時 法要期間中 ※16日は12時まで
[表彰式]
1月13日（月・祝）12時30分
（阿弥陀堂）
場所 伝道本部東棟1階ロビー

寺院活動支援部〈組織教化担当〉

スタンプラリー

『西本願寺グランドツーリング』
(全国別院巡拝スタンプラリー)
『真宗十派本山報恩講法要巡り』

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り(スタンプラリー)を実施しています。お茶所・龍虎殿にてスタンプ帳を配布していますので、ぜひお立ち寄りください。



真宗十派
真宗教団連合
(所務部
(文書担当))

グランドツーリング
重点プロジェクト
推進室

販売
被災地支援物産展2025

二〇二四年一月一日に令和六年能登半島地震が発生し、宗門では継続的な被災地支援に資するため金沢別院内に「浄土真宗本願寺派 能登半島地震支援センター」を立ち上げ、物資搬送・災害廃棄物撤去・炊き出し等多岐にわたる復旧支援活動を行い、十月からは仮設住宅集会所・公民館等でのサロン活動(傾聴を軸としたお茶会)も開始、被災者の方々に寄り添った活動を行っています。



また、二〇二一年三月十一日に発生した東日本大震災は、復興の歩みが進みつつあるものの、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、未だにさまざまな困難を抱えています。あわせて二〇二三年八月に発生したハワイ・マウイ島の大規模火災では、ラハイナ本願寺の各所が全焼するなど多くの方が被害に遭われましたが、アスベスト飛散のため未だ復興が進んでいない状況です。

宗門の被災地支援の取り組みとして、被災各県およびハワイ開教区の物産展とパネル等の展示をいたしますので、ぜひお立ち寄りください。

※「令和六年能登半島地震災害義援金」については、次ページをご覧ください。

公開講座

第11回
本願寺史料研究所
公開講座 無料

実如宗主五百回忌、戦後八十年をテーマとして、歴史講座を開催します。

- 【あいさつ】 十二時三十分
赤松徹眞
(本願寺史料研究所長)
- 【第一部】 十二時三十五分
約一時間
岡村喜史
(本願寺史料研究所上級研究員)
「実如宗主の生涯と事績」
- 【第二部】 十五時三十分
約一時間
近藤俊太郎
(本願寺史料研究所研究員)
「戦後八十年と本願寺
—戦争と平和をめぐる—」

ご予約はこちらから↓



日時 1月12日(日)
12時30分～15時30分
場所 聞法会館3階 多目的ホール

所務部〈文書担当〉

主な販売品

下記以外にもたくさん用意しております。

11日は物産展の商品を使った復興支援「おにぎり」を特別販売いたします。

【石川県】
和ろうそく、日本酒、塩、牛乳、ジャム



【宮城県】
水産加工品、日本酒、お菓子



【福島県】
なみえ焼きそば、
クリームチーズのみそ漬



【ハワイ開教区】
コーヒー



日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テント〈売り切れ次第終了〉

社会部〈災害対策担当〉、寺院活動支援部〈国際伝道担当〉

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 「令和6年能登半島地震 災害義援金」 募集について

昨年1月1日発生の「令和6年能登半島地震」の被害は8教区に及び、最も被害の大きかった能登半島地域では多くの方が避難生活を余儀なくされており、寺院・門信徒ともに甚大な被害報告が寄せられました。宗派では、被災地の支援を目的に、2024(令和6)年1月5日より標記募金の募集を行っておりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

記

1.募金の名称

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金
「令和6年能登半島地震 災害義援金」

2.受付口座番号

郵便振替 01000-4-69957

加入者名 たすけあい募金

銀行振込

銀行 ゆうちょ銀行
店名 一〇九(イチゼロキュウ)店
番号 当座 0069957
名義 たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」とご記入ください。住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。

※インターネットバンキングにて振込の方は、振込日・金額・送金人・住所・連絡先・領収書名等についてメールアドレス(saigai-taisaku@hongwanji.or.jp)にお知らせをお願いいたします。

お預かりした募金は災害義援金として、被災地へお送りさせていただきます。

3.受付期間

2024(令和6)年1月5日(金)から当分の間

4.問い合わせ先

浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部<災害対策担当>

TEL: 075-371-5181(代)

mail: saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

龍虎殿・
安穏殿・お茶所・
聞法会館ロビー等に
募金箱を設置
しております。

※支援活動内容など最新情報は、浄土真宗本願寺派
公式ウェブサイトでご確認いただけます。



★能登支援の商品も並ぶ被災地支援物産展(P.30)へもお立ち寄りください。

親鸞聖人のご生涯 (御絵伝解説)

親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』(絵巻物)を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝鈔』(『御伝記』)と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になってからは、一般のお寺でも、報恩講(聖人のご命日法要)の際には、『御絵伝』を奉懸し、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』(33〜40ページ)は、平成二十三年(二〇一一年)にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



【出家学道】

(下段・上段左)

承安三年(一一七三年)、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年(一一八一年)、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚(慈鎮和尚)の坊舎(白川房)で、僧侶となる儀式(お得度)を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断りましたが、聖人は「明日ありと 思う心のあた桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する(髪を剃る)様子が描かれています。

【吉水入室】

(上段右)

建仁元年(一一〇一年)、二十九歳とられた聖人は、頂法寺(六角堂)の参籠を経て、源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。

【六角夢想】

(下段・上段右)

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺(六角堂)に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

この夢を見られた聖人は源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

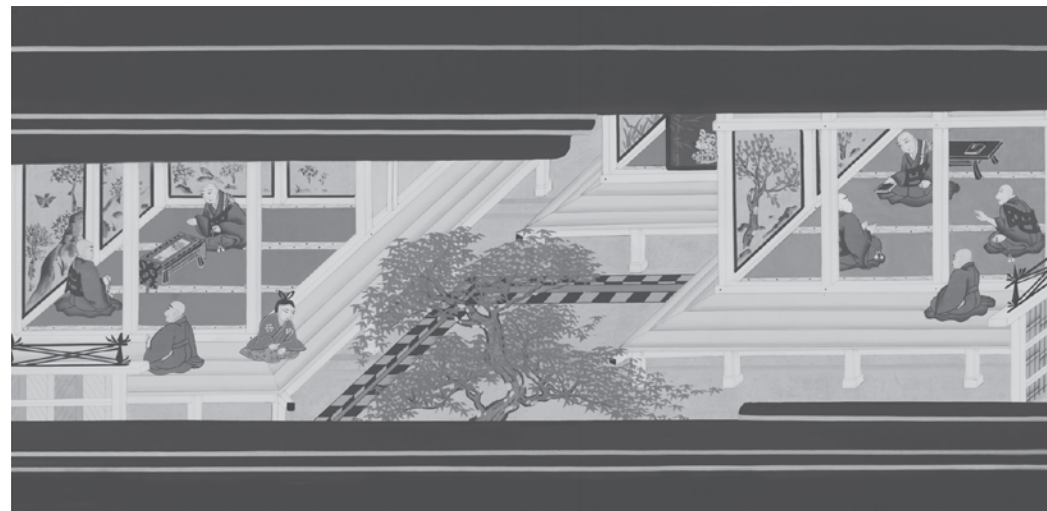
聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に対して礼拝しているお姿、東(右)を見ているお姿で描かれています。

【蓮位夢想】

(上段左)

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話がうつり、建長八年(一二五六年)、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことによって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



【選択付属】

親鸞聖人が、源空聖人(法然聖人)から、『選択本願念仏集』と源空聖人の絵像を授かっている場面です。

聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳(元久二年「一二〇五年」、恩恕(お許し)を蒙りて(受けて)『選択』(選択集)を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日に、

「選択本願念仏集」の内題の字(書物の題名)、

ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と

「釈綽空」の字と、空(源空聖人)法然聖人の真筆(直筆)をもつて、これを書かしたまひき(書いてくださった)。

同じき日、空(源空聖人)の真影(絵像)申し預かりて、図画したてまつる。

と思ひ起こされています。

【信行兩座】(下段)

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をばげむことで決まるか」お弟子たちに確認した

いと、源空聖人(法然聖人)に相談しました(下段右)。

「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房(熊谷直実)、最後に源空聖人が座りました(下段左)。

【信心諍論】(上段右)

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜るもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

【入西鑑察】(上段左)

場面は変わって、親鸞聖人七十歳の頃に話がうつり、お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを察して、「定禪という絵師に描いてもらおうといい」と言われたことが描かれています(右)。定禪は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました(左)。



【念仏禁止】 (下段右)

お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの奈良や比叡山の仏教との摩擦が起こるようになり、それから朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門の前に奏上に訪れている様子が描かれています。

【公卿僉議】 (下段左)

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年(一二〇七年)念仏停止が決定し、住蓮・安楽など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人(法然聖人)は土佐国(実際には讃岐国)、親鸞聖人は越後国国府へ、還俗(僧侶の身分の剥奪)の上、流罪となりました。

【師資遷謫】 (上段)

承元元年、源空聖人が旅立たれるところ(上段左)と、親鸞聖人が旅立たれるところ(上段右)です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。

【稲田興法】 (下段)

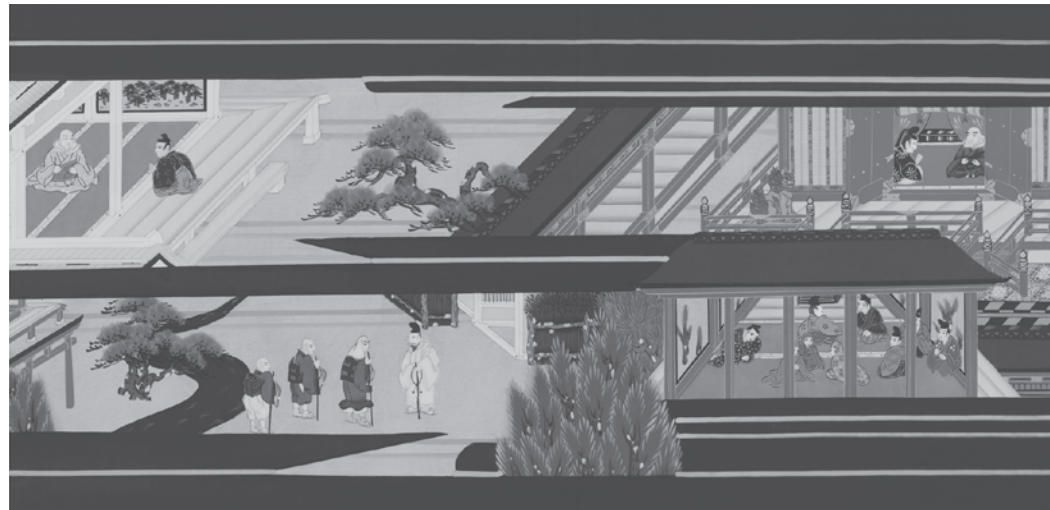
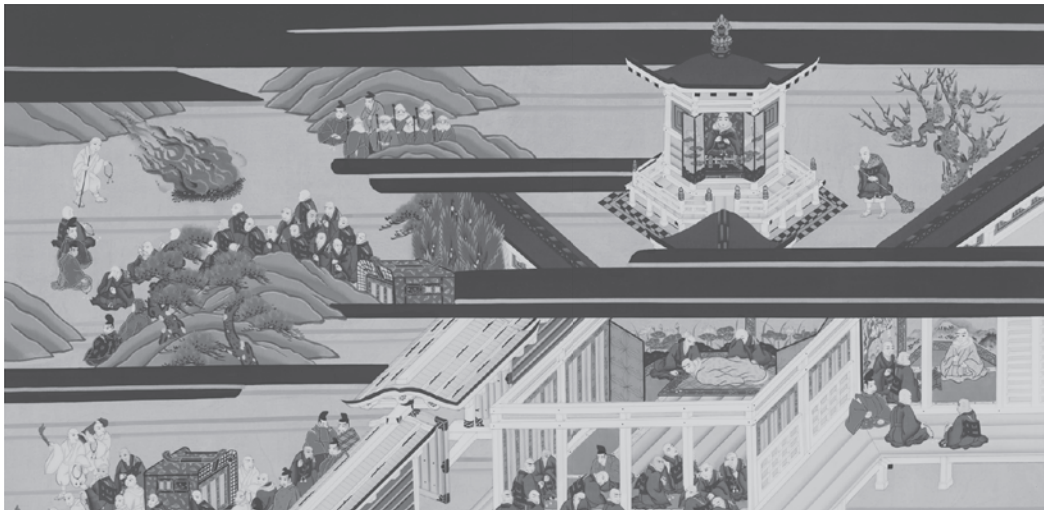
建暦元年(一二二一年)、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人(法然聖人)は赦免の翌年、京都で往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ(下段右)、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が訪れるようになります(下段左)。

【弁円済度】 (上段)

聖人の草庵に多くの人が訪れる様子を快く思わない山伏たちがあらわれ(上段右)、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いをみて、弓矢を折り、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました(上段左)。



【箱根霊告】 (下段左)

親鸞聖人が関東に住まわれてからおおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現(神)が今夢に出てきて、尊敬している方が通るのでもてなしてほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

【熊野霊告】 (下段右・上段)

茨城県水戸市飯富(旧大部)に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。

平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます(上段左)。聖人は、「阿弥陀如来の本願を信じる者は、主が阿弥陀仏であるから、神様を軽んじることはありません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に(下段右、正装した熊野権現(神)と聖人が夢に出てきます(上段右)。

【洛陽遷化】 (下段・上段左)

親鸞聖人は、弘長二年(一二六二年)十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかったそうです(下段右)。そして十一月二十八日、今の暦では一二六三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にしてみぎわきを下に、西を向いて往生されました(下段中央)。御年九十歳でした。

【廟堂創立】 (上段右)

聖人がご往生されて十年後の文永九年(一二七二年)、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像をご安置されました。このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまだと伝わっています。

日野誕生院

ひのたんじょういん

【親鸞聖人ご誕生の地】

京阪・地下鉄・JR「六地蔵」駅または地下鉄「石田」駅から京阪バスで「日野田頼町」より徒歩5分



産湯の井戸

及び聖人六歳のお姿を写したといわれる「幼童の御影」、そして聖人の父である日野有範卿の木像がご安置されており、また、境内には、聖人ご誕生の際に使用されたと伝わる「産湯の井戸」などがあります。



京都の東南にあり、まず日野誕生院は、親鸞聖人のご誕生の地であり、本願寺第20代宗主・上人時代にご誕生の地を顕彰して、お堂が建立されたことに始まります。

平安時代の様式による堂内には、ご本尊

住所・電話番号

〒601-1417
京都市伏見区日野西大道町19
電話番号 (075) 575-2258
FAX番号 (075) 575-2241

角坊

すみのぼう

【親鸞聖人ご往生の地】

地下鉄「太秦天神川」駅または嵐電「山ノ内」駅より徒歩10分



京都山ノ内にあります。角坊は、親鸞聖人が晩年のお住まいとされた善法坊跡であり、本願寺第20代宗主・上人時代に「聖人ご往生の地」と定められ、坊舎が建立されたことに始まります。

ご本尊がご安置されている還浄殿は六間四面のひのき造りで、正面欄間には聖人ご往生の様子が彫刻・装飾されており、また、正面の「還浄殿」の額は広如上人のご染筆です。

親鸞聖人七百五十回大遠忌事業の一環として大規模な境内整備が行われ、現在に至っており、六月には「広如忌」の法要をお勤めいたしております。

住所・電話番号

〒615-0091
京都市右京区山ノ内御堂殿町25番地
電話番号 (075) 841-8735
FAX番号 (075) 841-8736

大谷本廟

おおたにほんびょう

【親鸞聖人のご廟所】

京阪「清水五条」駅より徒歩約15分
市バス(206・207)・京阪バス(311・312)で「五条坂」降車



総門

京都東山五条の大谷本廟は、親鸞聖人をはじめ歴代宗主のご廟所(墓所)です。聖人のご廟である祖壇のお側に納骨させていただきたいという思いから、全国門信徒が納骨をされる場所として、毎日大勢の方々がご参拝され、香煙がたえまません。

大谷本廟の総門(山門)をくぐると、正面に仏殿があります。その奥に、祖壇とその拝堂である明著堂があります。また、廟所の山側には広大な大谷墓地が広がり、聖人が火葬された御荼毘所があります。

大谷本廟は、今も昔も有縁の方々が、納骨・永代経・墓参などをご縁としておみのりを聴聞される場所です。その由緒を大切にされる多くの皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

京阪バス時刻表 [311] [312]

本願寺・大谷本廟 循環バスは2021年3月末をもって運行終了しました。

西本願寺→大谷本廟 大人230円(小児120円)

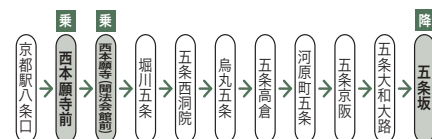
時	平日	土曜・休日	時	平日	土曜・休日
7	39	44	14	14 44	14 44
8	09 34	14 44	15	14 44	14 44
9	14 44	14 44	16	14 44	14 44
10	14 44	14 44	17	19 44	19 44
11	14 44	14 44	18	19 49	19 44
12	14 44	14 44	19	24 49	19 44
13	14 44	14 44	20	24 49	19

※上表は「西本願寺前」の時刻です。「西本願寺(開法会館前)」は各2分後になります。

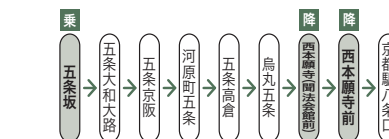
大谷本廟→西本願寺(京都駅八条口) 大人230円(小児120円)

時	平日	土曜・休日	時	平日	土曜・休日
7	04 27 51	12 42	14	12 42	12 42
8	41	12 42	15	12 42	12 42
9	13 41	12 42	16	12 42	12 47
10	12 42	12 42	17	07 42	14(12) 48(47) ※
11	12 42	12 42	18	13 47	11(10) 48(47) ※
12	12 42	12 42	19	11 46	11 47
13	12 42	12 42	20	11	

※土曜と休日で発車時刻が変わります。



行先: 大宅行、京阪六地藏行、醍醐バスターミナル行、五条坂行



行先: 京都駅八条口行

通年

	総 門	無量寿堂
開門(堂)	5:30	8:00
閉門(堂)	17:00	16:30

納骨・読経受付時間

毎 日 9:00~15:00

住所・電話番号

〒605-0846
京都市東山区五条橋東6丁目514
電話番号 (075) 531-4171(代)
FAX番号 (075) 531-2072

<https://otani-hombyo.hongwanji.or.jp>



「参拝の皆さまへ」

御正忌報恩講法要期間中の

帰敬式のご案内

（当日のお申し込みでも
法名をいただくことができます）

帰敬式は「おかみそり」とも呼ばれ、

阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で

浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし

お念仏申す日暮らしを送ることを誓う

大切な儀式です。

仏教をひらかれたお釋迦さまの「釋」の一字と

漢字二文字※からなる「法名」が授けられます。

「法名」とは、み教え（法）を依りどころとして

お浄土への道を歩ませていただく

仏弟子としての「名のり」です。

※漢字二文字は、經典・浄土三部經や
親鸞聖人のご著書の中より選ばれています



本願寺HP

帰敬式のご案内

時間 ■ 1月9日(木)～ 15日(水)

【午前の部】 晨朝(午前6時)に引き続き

【午後の部】 午後1時

■ 1月16日(木) (午前の部は行われません)

【午後の部】 午後1時30分

受付 【午前の部】 (式は御影堂にて行われます)

前日または当日の開門後、龍虎殿(参拝教化部)にてお申し込みください。

※晨朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。

【午後の部】 (式は御影堂にて行われます)

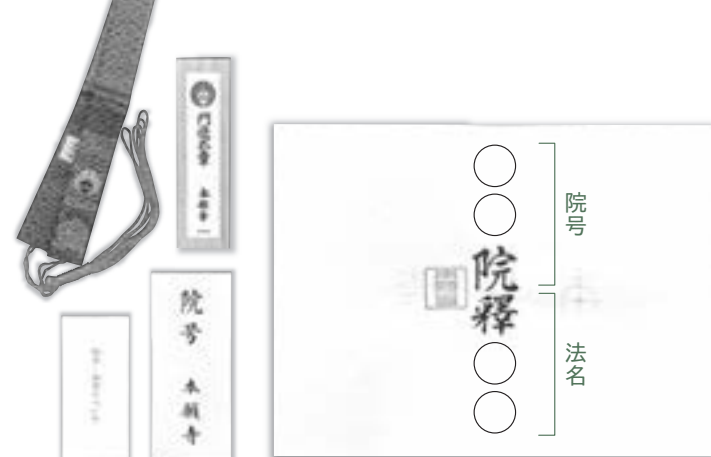
受式1時間前までに龍虎殿(参拝教化部)にてお申し込みください。

冥加金 【成人】 10,000円 【未成年】 5,000円

※希望する法名(文字)がある場合、所属寺住職と相談のうえ、法名を内願することができます。受式希望日より2か月前の申請が必要となり、上記冥加金に加えて10,000円以上の懇志をお納めいただきます。

帰敬式法名用紙・包み紙

「院号」をいただくには



「院号」を
いただくには

院号って何？



院号は、宗門へ貢献をされた方や、20万円以上の永代経懇志を納めていただいた方へお渡ししているものです。

おくられる院号は「〇〇院」の漢字3文字で浄書(墨書き)したものに本願寺印が押印されています。院号はご自身の希望の文字を入れて、内願することができます。帰敬式を受式されている方には、院号のあとに法名「釋〇〇」が併記されます。

院号・法名は生前にいただくことができるんだね！



院号とあわせて式章もいただけるんだね！



「院号」がいただける基準

- 寺院の門徒総代を通算20年(5期)以上経歴された方や、寺院の責任役員を通算12年(3期)以上経歴されるなどその功績が認められた方
- 宗門および本山に多額の永代経懇志を進納された方(懇志20万円以上の永代経扱いとして交付)

■ 永代読経修行之証

永代経申し込み後、初めて法要にお参りいただいた際に、「永代読経修行之証」という証書をお渡しします。この証書をお持ちいただいた方には、これ以降本願寺・国宝・阿弥陀堂にて、原則1日2回修行される総永代経法要にいつでもお参りいただき焼香することが出来ます。



参拝教化部(永代経係)

※大谷本願でもお申し込みいただけます。
※お世話になっているお寺のある方は、そちらにご相談ください。

参拝教化部(帰敬式係)

※本人以外の受式は認められません。

ほとけさまのお話

お西さんの法話 毎日(11:00)／御影堂 15分1席 ※配信なし

YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」



晨朝〈朝のお勤め〉 毎朝(6:00)／阿弥陀堂・御影堂 ▶LIVE

お西さんの土曜法話 土曜日(17:00)／総会所 40分1席 ▶LIVE

YouTubeチャンネル「お西さんの常例布教」



昼座 毎日(14:00)／総会所 30分2席 ▶LIVE

※参加無料。また、各法座は状況により中止又は時間・会場等変更する場合がございます。

▶ YouTubeによるお聴聞ができます！

毎日の常例布教・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeにて▶LIVE配信しています。また、過去の法話(アーカイブ*)も公開中です。上記チャンネルから、いつでもどこでもお聴聞していただけます。

※(アーカイブ配信)は期間限定公開(諸事情により公開されない場合もございます)。



参加者15万人を達成!!

「お西のお坊さん」による境内案内
お西さんを知ろう!

1日4回 所要時間…約30分

集合場所:お茶所

1回目 10:00～ 2回目 11:30～
3回目 13:45～ 4回目 15:30～

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が、両堂や境内各所を法話を交え、ご案内いたします。どなたでも何度でもご参加いただけます。参加希望の方は、上記開催時間までにお茶所にお越しください。

※本法要期間中も開催いたします。



何がもらえるかは、お楽しみ♪

ご参加いただいた方には…

オニシ 024Card 全24種

1枚をプレゼント!

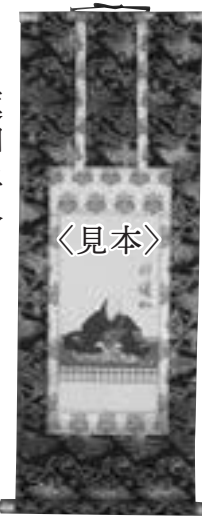
本願寺の見どころを紹介するオリジナルカードです。



すべてのご家庭に阿弥陀さまを

龍虎殿(参拝教化部)受付にてお迎えいただくことができます

〈左側〉蓮如上人(蓮師)



〈中央〉御本尊(阿弥陀如来)



〈右側〉親鸞聖人(宗祖・祖師)



※上記写真の他に六字尊号(南無阿弥陀仏)、九字尊号(南無不可思議光如来)、十字尊号(帰命尽十方無礙光如来)がございます。※大きさと表装の違いにより冥加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部(免物係)までお問い合わせください。

いちよう・きく

いろいろな生活環境においても、心のよりどころとしてのご本尊を安置していただける小型の「いちよう」と「きく」があります。それぞれにご絵像と六字名号があります。



いちよう (縦24cm×横19cm×奥行9cm) 冥加金 30,000円



きく (縦17.2cm×横10.3cm×奥行2.9cm) 冥加金 20,000円

携行本尊(絵像)

携行本尊とは、「独りじゃないよ、いつも一緒だよ」と、よびかけてくださる阿弥陀さまをいつでもどんな時でも感じられるよう、持ち歩くことができる名刺サイズの御本尊です。本願寺(龍虎殿)で直接お迎えいただけるほか、ホームページからのお申込みも可能です。



PR動画及び申込みフォームはこちら



(縦90mm×横55mm×厚み2mm 漆ブラック調バイオプラスチック) 冥加金 10,000円

参拝教化部(免物係)

領解文

もろもろの雑行雑修自力のころをふりす
てて、一心に阿弥陀如来我等が今度の一大事の
後生御たすけ候へとたのみ申し候。たのむ
一念のとき往生一定御たすけ治定とぞんじ、
この上の称名は、御恩報謝とぞんじよろこび
申し候。この御ことわり聴聞申しわけ候事、
御開山聖人御出世の御恩、次第相承の善知識
のあさからざる御勸化の御恩と、ありがたく
ぞんじ候。
この上はさだめおかせらるる御おきて一期
をかぎり、まもり申すべく候。

報恩講の歌

作詞：日曜学校同人 黒瀬知圓
作曲：野村成仁

和歌の浦曲の 片男波の
寄かけよせかけ 帰る如く
我世に繁く 通い来り
み仏の慈悲 ったえなまし

一人居てしも 喜びなば
二人と思え 二人にして
喜ぶおりは 三人なるぞ
その一人こそ 親鸞なれ

(三番以降省略)

お西さん(西本願寺)SNS紹介



龍谷山 本願寺LINE公式アカウント開設

毎日のお勤め時間や帰敬式の日程をはじめ、大谷本廟の受付混雑状況などの情報をお届けします。



LINE ID「@hongwanji」

お西さん(西本願寺)公式ホームページ

<https://www.hongwanji.kyoto>

本願寺のさまざまな情報を随時
発信しています。
ご参拝にお役立てください。



お西さん(西本願寺)公式Instagram

[nishi_hongwanji](https://www.instagram.com/nishi_hongwanji)

本願寺境内の四季折々の風景
などをお届けします。
フォローをお願いします。



お西さん(西本願寺)公式X(旧Twitter)

[@nishi_hongwanji](https://twitter.com/nishi_hongwanji)

法要行事のご案内など本願寺の
「今」をお伝えしています。
フォローをお願いします。



お西さん(西本願寺)公式note

https://note.com/nishi_hongwanji

仏教や宗教に関するコラムや
お西のお坊さんなどへの
インタビューまで、本願寺に
まつわる情報をお届けします。



私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
一、生かされていることに気づき
日々精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

御正忌報恩講法要期間中の仏華



(御影堂)



御影堂内陣



(御影堂)

お斎接待のご案内

国宝の鴻之間で
精進料理をぜひお召しあがりください。

■時間：【1回目】12時頃～ 【2回目】13時頃～
■場所：鴻之間

詳しくはP.14



2025(令和7)年 本願寺の法要行事日程

元旦会・修正会	1月 1日(水・祝)
御正忌報恩講法要	1月 9日(木)～16日(木)
如月忌	2月 7日(金)
第73回本山成人式	3月 8日(土)
春季彼岸会	3月17日(月)～23日(日)
第9代宗主実如上人500回忌法要	4月12日(土)～13日(日)
第19代宗主本如上人200回忌法要	4月13日(日)～14日(月)
〈春の法要〉立教開宗記念法要	4月15日(火)
誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)	5月19日(月)
宗祖降誕会	5月20日(火)～21日(水)
広如忌(角坊)	6月 1日(日)～ 2日(月)
大谷本廟納骨・永代経総追悼法要	6月 5日(木)～ 8日(日)
朝の法座(大谷本廟)	7月20日(日)～22日(火)
孟蘭盆会	8月14日(木)～15日(金)
戦没者追悼法要	8月15日(金)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 (東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)	9月18日(木)
秋季彼岸会	9月20日(土)～26日(金)
龍谷会(大谷本廟報恩講法要)	10月15日(水)～16日(木)
〈秋の法要〉全国門徒総追悼法要	11月22日(土)～23日(日・祝)
御煤払	12月20日(土)
除夜会	12月31日(水)

宗祖月忌法要 毎月15日・16日(1月は除く)

※16日はShinran's Day (親鸞聖人の日)